平成24・25年度　研究員研究テーマ

本市の学校教育・社会教育の向上を図るため、組織的・計画的な調査研究を行っています。

①「『生きる力』を育む学校での安全教育のあり方」

現在、事件・事故災害や自然災害など、多くの危険が子ども達を取り巻いている状況にあります。児童生徒が自らの行動や周囲の環境に生じる様々な危険を予測・回避し、あるいは対処して安全に行動できるようにすることをめざす安全教育のあり方について研究をしていきます。

②「中学校ダンスの授業をどう創る」

学習指導要領の改訂では、中学校１・２年生において「ダンス」を含むすべての運動領域を必修とすることが示されました。この研究では、中学校におけるダンスの授業の現状を把握するとともに、保健体育科教員が、ダンス必修化の趣旨を踏まえた指導を行えるよう授業づくりについて考えていきます。

③「児童生徒理解を深めるための保健室との連携」

児童生徒理解を深め、指導の充実を図るために、学級担任と養護教諭との連携のあり方はどうあるべきかについて考えていきます。また、学級担任や教科担任が養護教諭とともに授業を実施するうえでの効果や課題を明らかにし、今後の指導の参考となるよう研究していきます。

さがみはら教育 152号の紹介

さがみはら教育１５２号は、「子どもの遊びを考える」がテーマです。本号では、山梨大学教授の中村和彦氏のインタビューや市内小中学校へのアンケート調査の特集を組み、東海大学講師の大越正大氏や小中学校の校長先生から提言をいただきました。また、小中学校教師の取り組みも紹介しています。

社会情勢が変化してきている中で、子どもたちの遊びも変化してきました。電子ゲームやゲームセンター、プリクラ等が子どもの生活に浸透し、遊び仲間の固定化も見られます。遊びには人間関係づくりに大切な様々な力が身につくと、多くの教師はその可能性を認めていますが、現実には遊びを通しての人間関係づくりが難しい状況です。

では、今、学校や地域・家庭が何をしたらよいのでしょう。遊びについての重要性を再認識する時がきているのではないでしょうか。

お問い合わせは、研究・研修班（756-0290）または、情報公開室行政資料コーナー(769-8331)まで。また、総合学習センターのホームページ(http://www.sagamihara-kng.ed.jp/index.htm)にも特集内容を掲載しています。

第４６回 教育研究発表大会

平成24年８月１日（水）

第 46 回教育研究発表大会を８月１日（水）に開催します。毎年、好評を得ております記念講演会の講師は、次の方に決まりました。

登山家　田部井　淳子氏

田部井氏は、世界最高峰エベレスト、七大陸最高峰登頂に、いずれも女性として世界で初めて成功されたことで知られています。

「 世界の山々をめざして 」
～あきらめずに夢を実現させる～

現在は、年数回海外へ出かける傍ら、テレビや執筆など多方面で活躍されています。

登山家として夢を追い続けながら実現させてきた多くのご経験や、“ 積み重ねることの大切さ ”と“ 挑戦する楽しさ ”について存分に語っていただきたいと思います。

生涯学習まちかど講座

「情報モラルとマナーについて
～情報化社会で知っておきたいルール～」

２月２７日（月）若草小学校において、ＰＴＡを対象にインターネットの危険性などについての講座を行いました。

学校裏サイトやプロフなど、インターネット上にある掲示板から発生している様々な実態を知ってもらい、子どもたちがインターネットや携帯電話・携帯ゲーム機を利用する上で、保護者としてどのようなことに気をつけていかなければならないのかについて考えていただきました。

当日は、インターネット等のトラブルのＤＶＤも見ていただき、参加者からは、「携帯は居間に置く」、「何かあったら大人に相談する」などの意見があり、買い与える前の家族間のルールづくりが大切であることをみんなで確認し合いました。